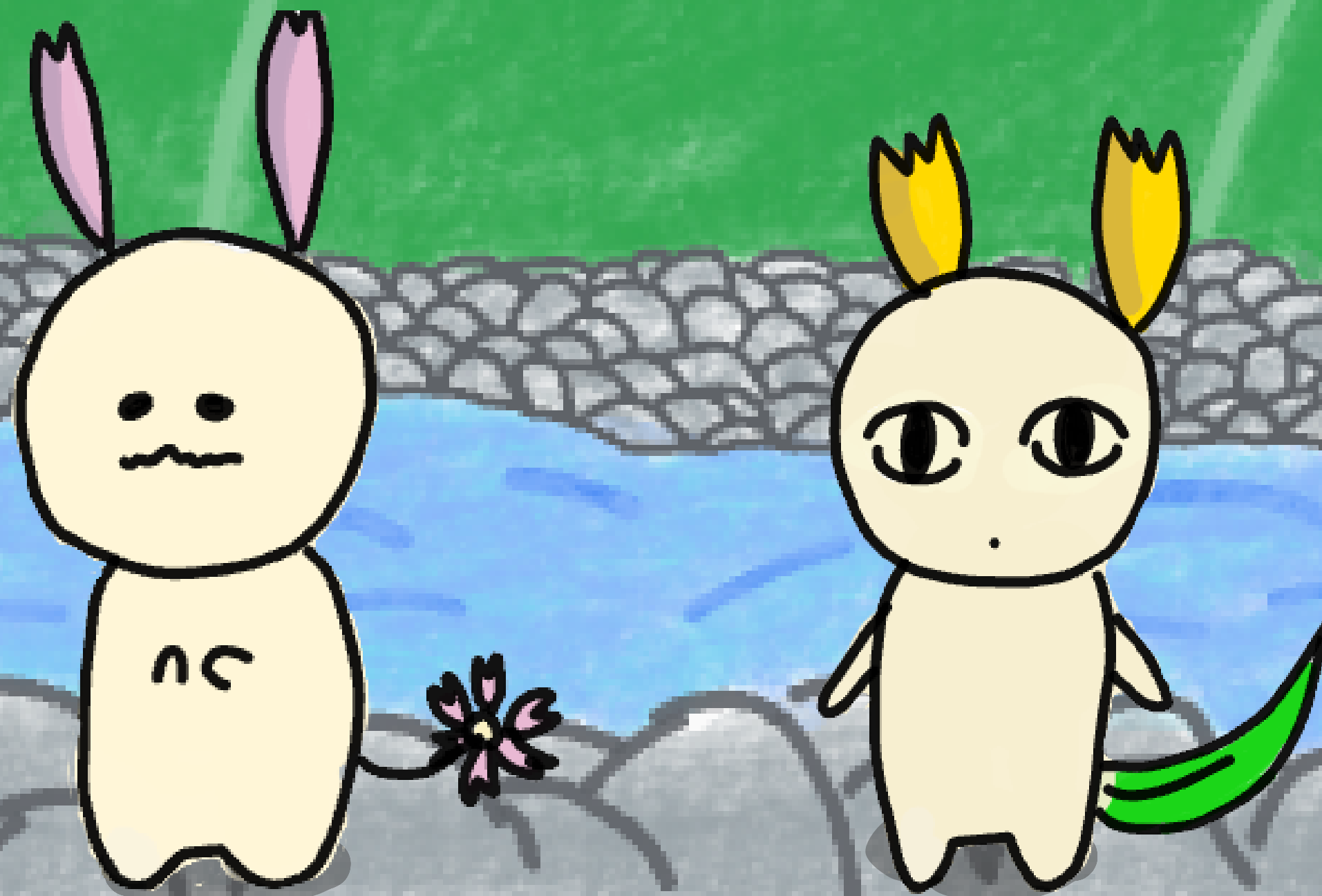


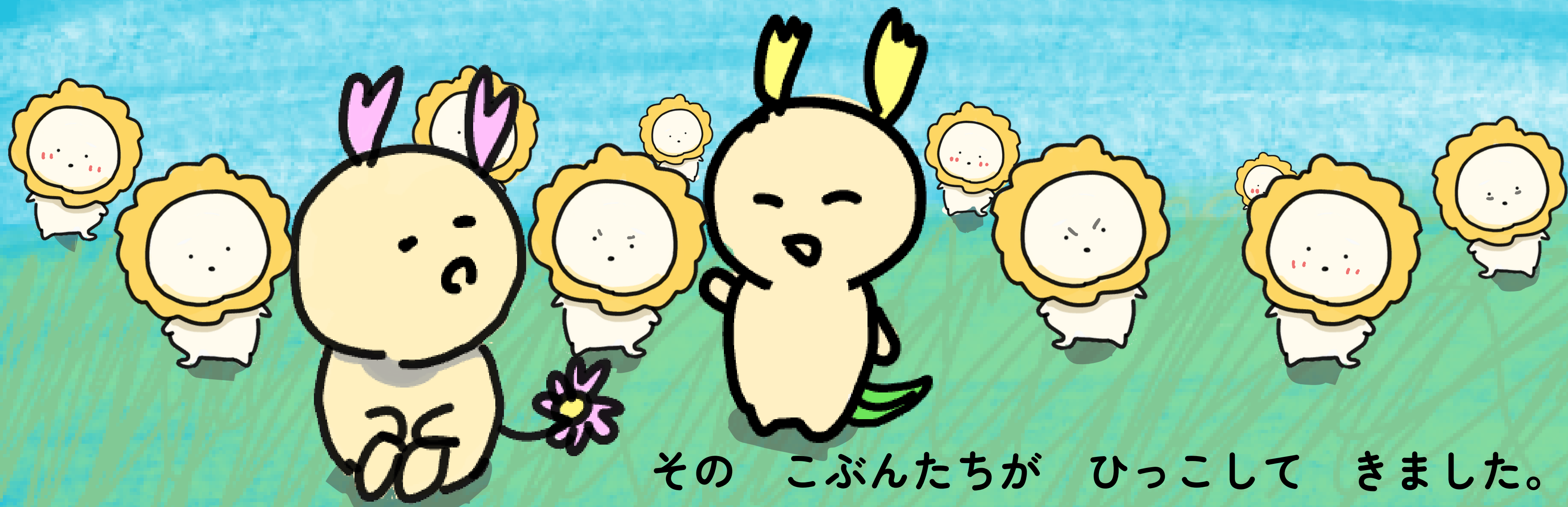
令和8年度 ツツザキヤマジノギク絵本チーム 作・絵

ツーちゃんとオーくん



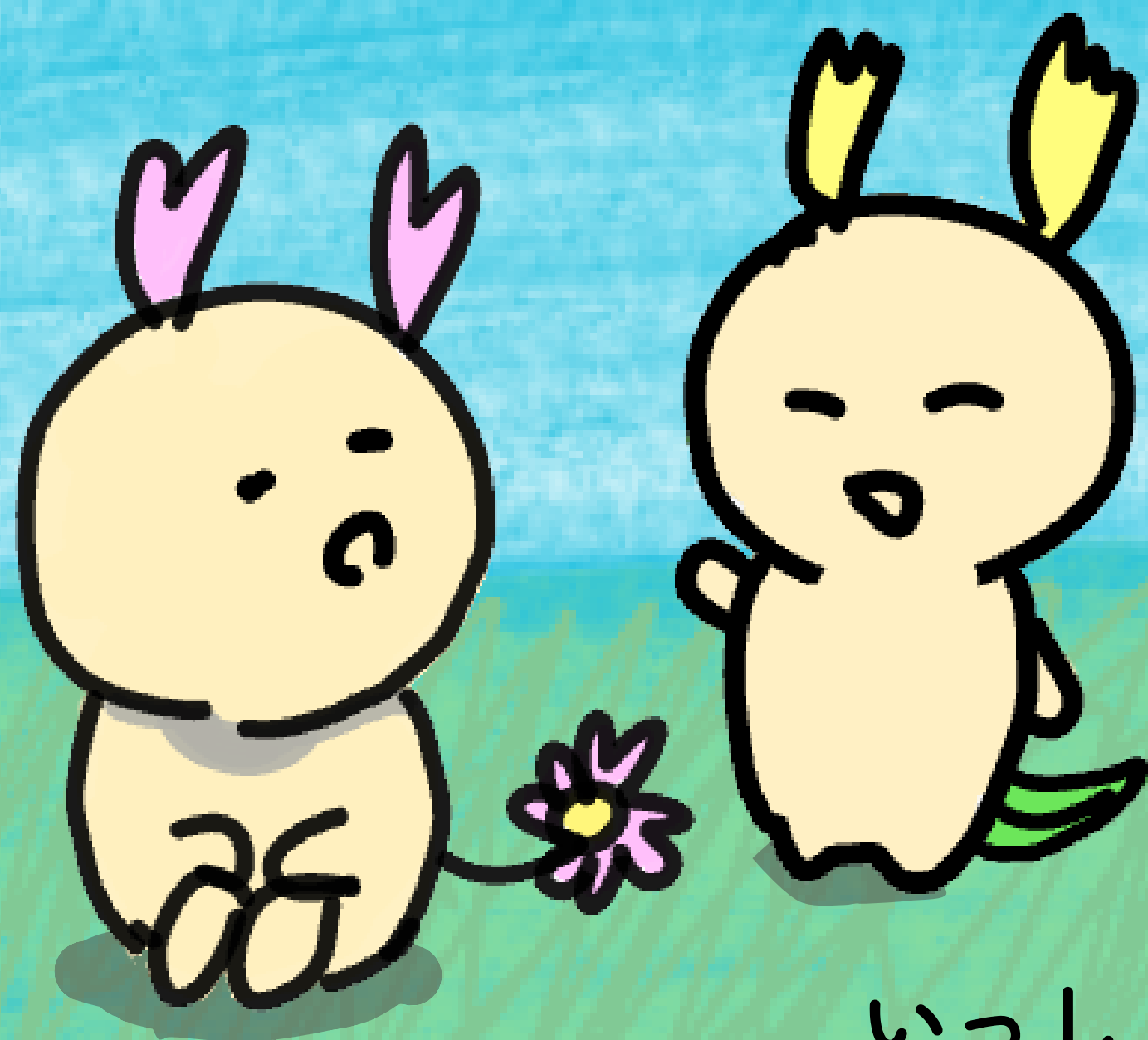
あるひ、へいわに　くらしていた　ツツザキ
ヤマジノギクの　ツーちゃんの　ところに

オオキン　ケイギクの　オーくと



その　こぶんたちが　ひっこして　きました。

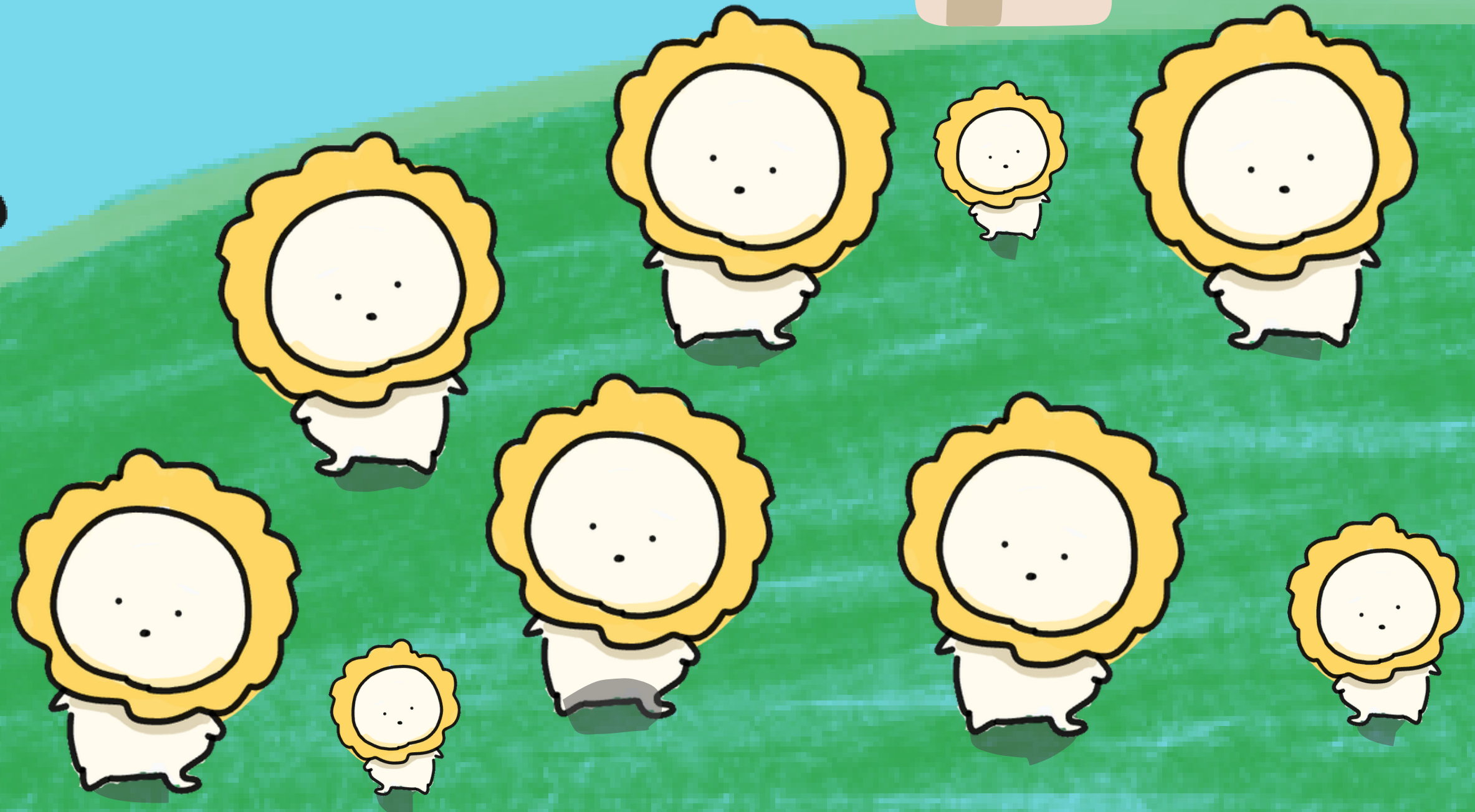
さいしょは ツーちゃんと オーくんは

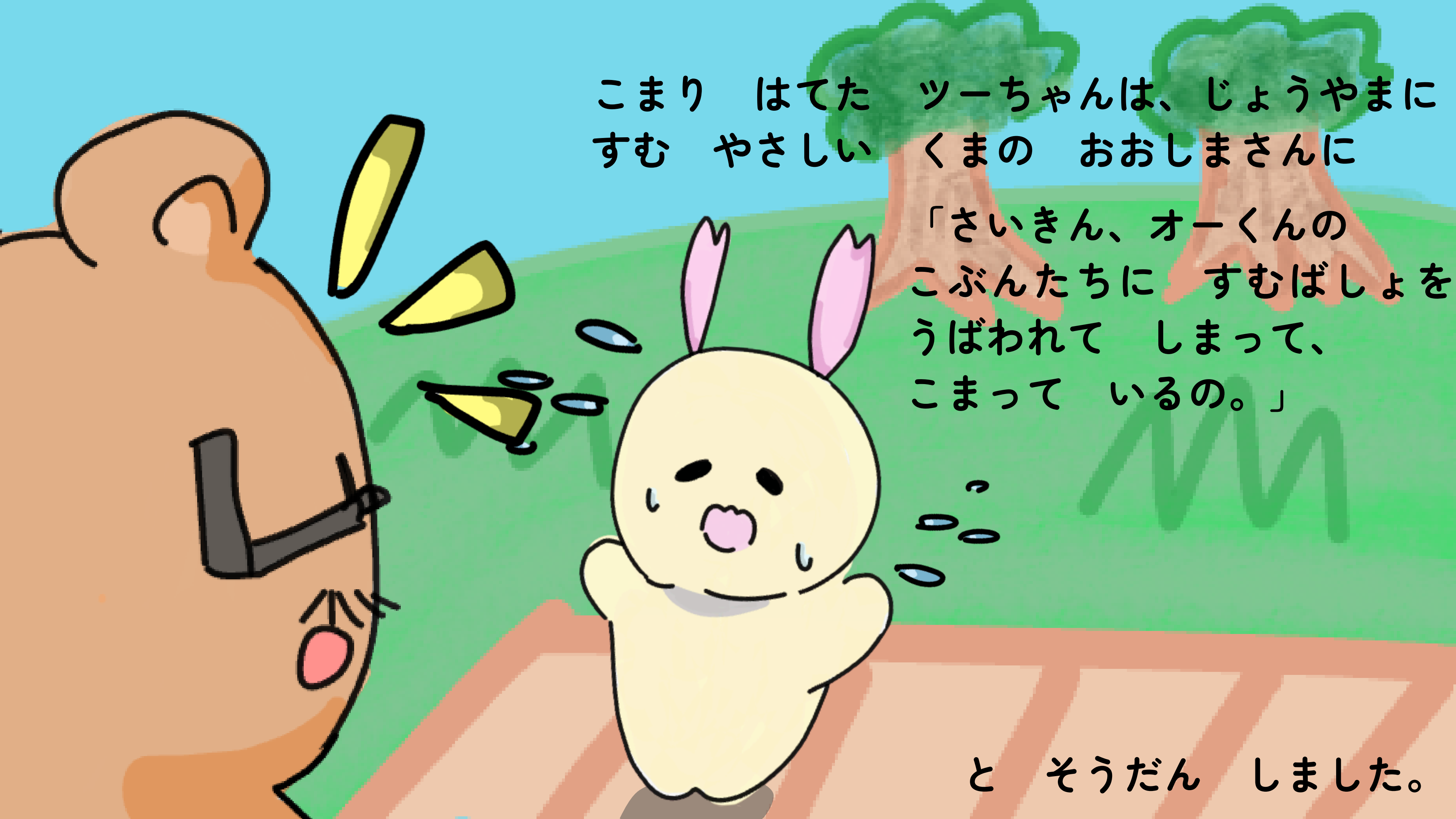


いっしょに なかよく あそんで いました。

しかし、オーくんの こぶんたちは ツーちゃんの すむ ばしょなんて

かんけいなしに ふえて ツーちゃんの すむばしょを
うばって しまいます。





こまり はてた ツーちゃんは、じょうやまに
すむ やさしい くまの おおしまさんに

「さいきん、オーくんの
こぶんたちに すむばしょを
うばわれて しまって、
こまって いるの。」

と そうだん しました。

そうだんを うけた おおしまさんは あっさり オーケー して
オーくん たちに、

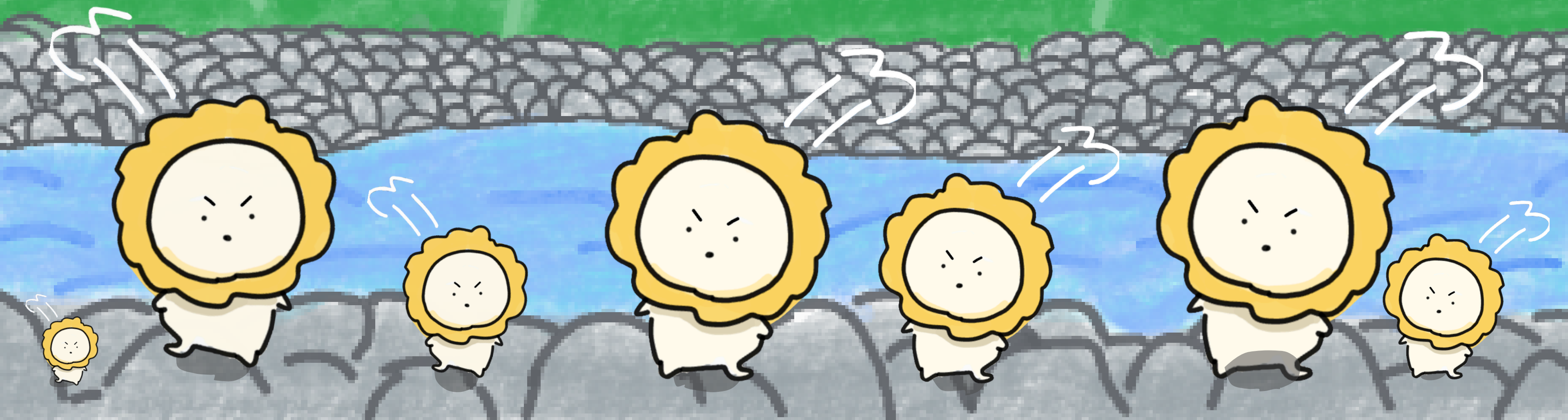
「ツーちゃんと オーくんたちの すむ ばしょを わけよう」

と、ていあんしました。



オーくんは さんせい しましたが オーくんの こぶんたちは、

その ていあんに はんたい してしまいます。



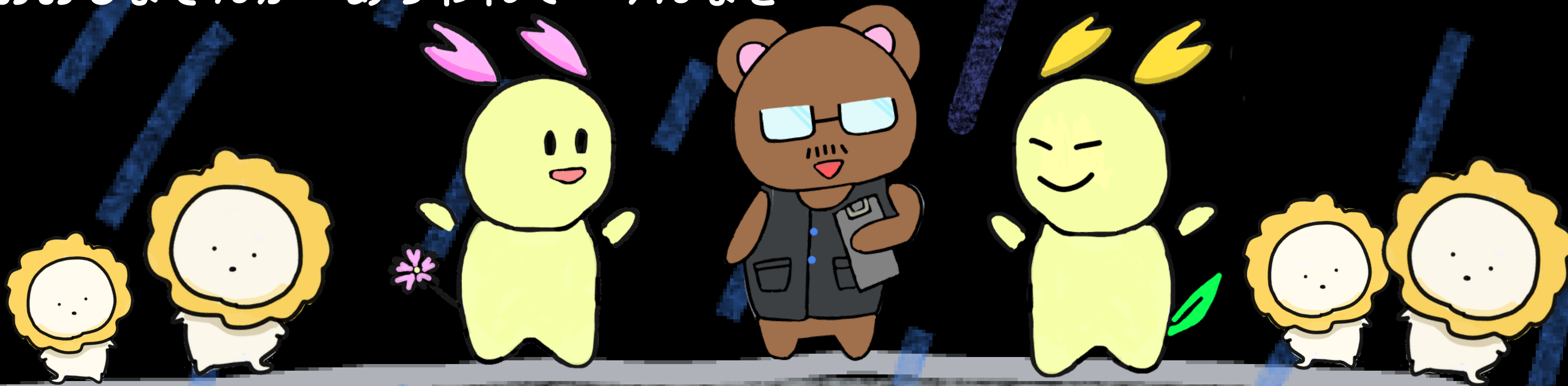
そのとき！とつぜん たいふうが きて

かわの みずが ふえて しまいます！



このままでは みんな ながされて しまう！ と おもった そのとき！

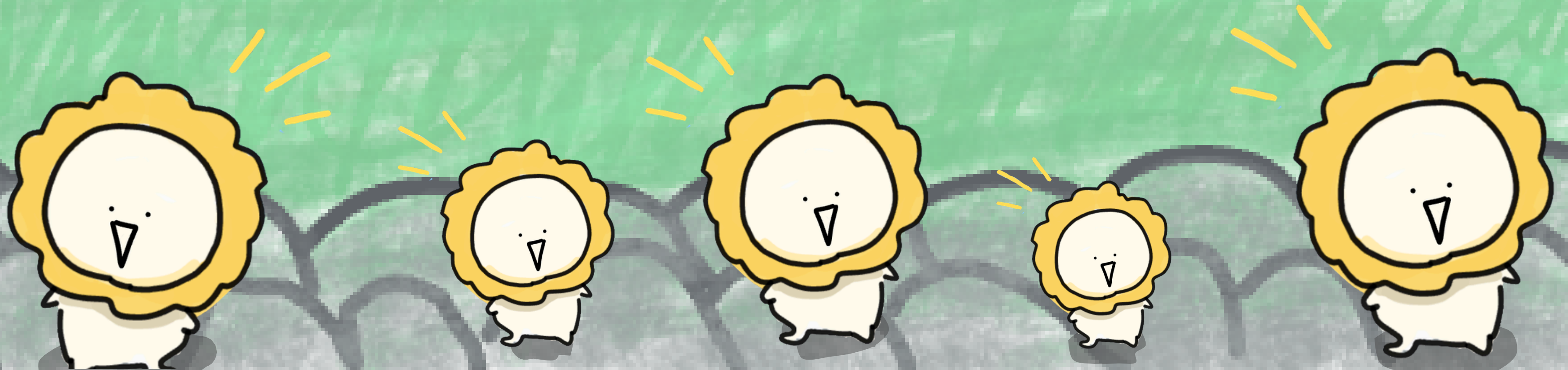
おおしまさんが あらわれて みんなを



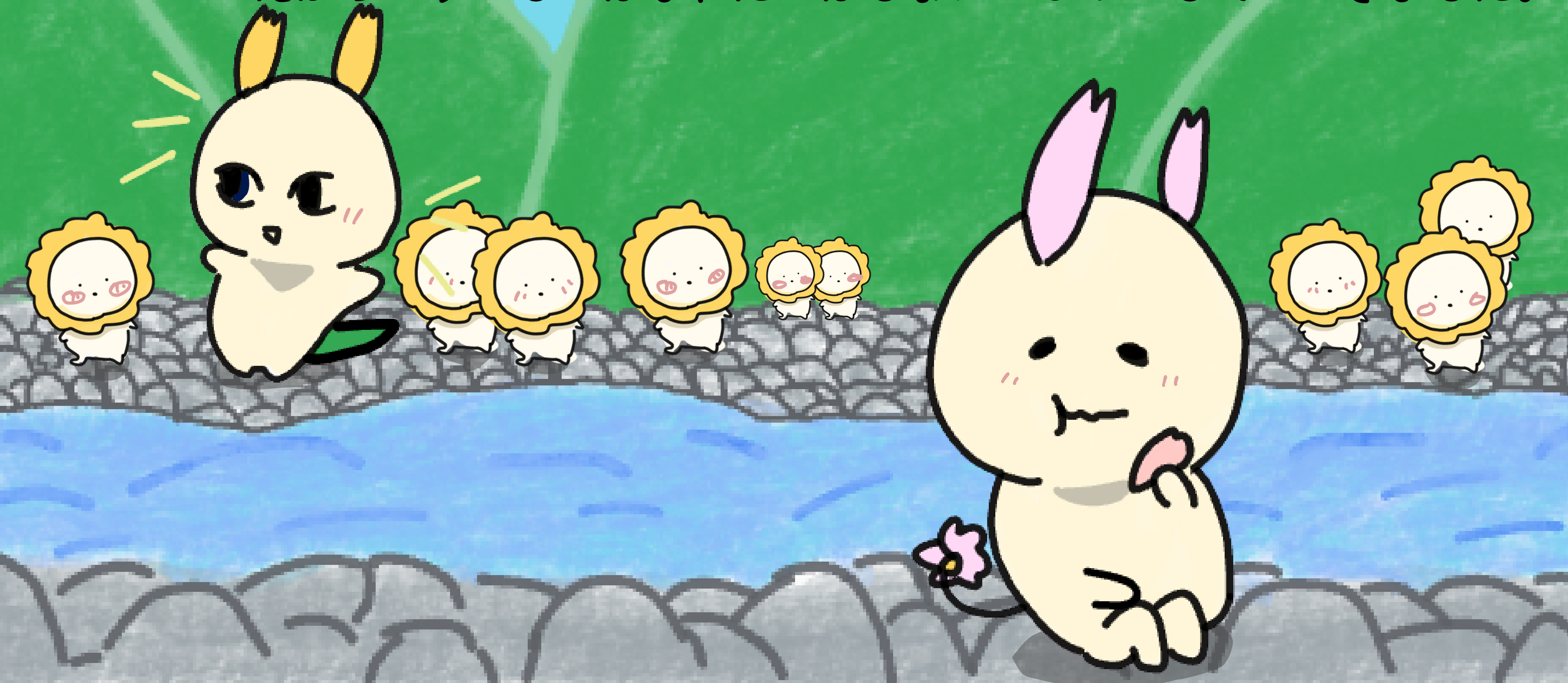
たかい ところに いどうさせて たすけて くれました。

おおしまさんに たすけられた オーくんの こぶんたちは

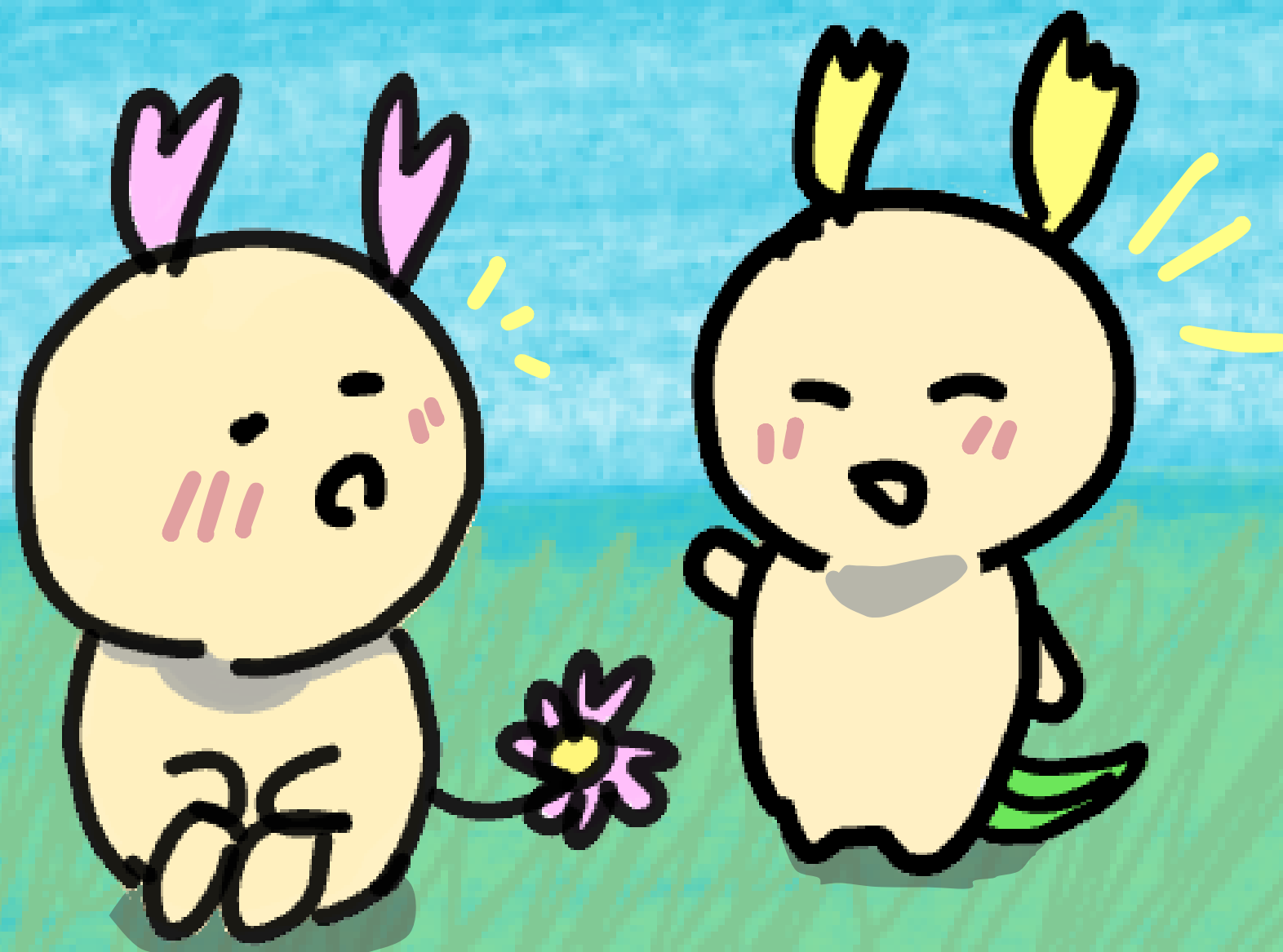
こころを いれかえて おおしまさんの ていあんに さんせい
するように なりました。



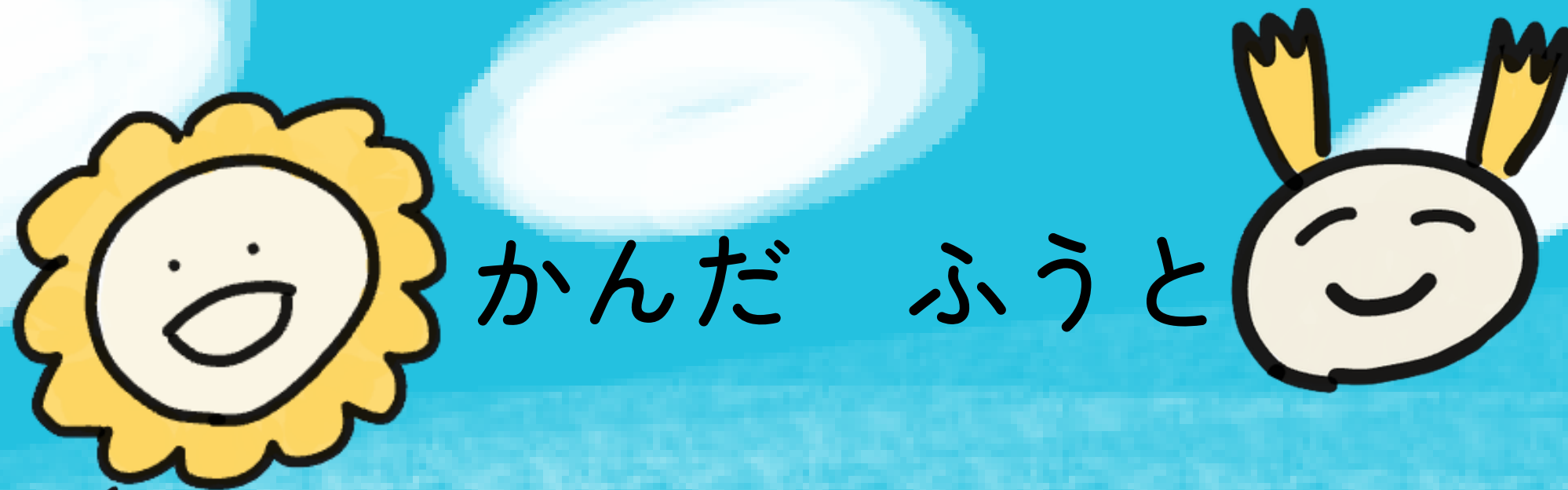
そして つぎのひ オーくんと そのこぶんたちは ツーちゃんの
いえから すこし はなれた ばしょに ひっこして いました。



そのあと、ツーちゃんと オーくんは たいふうが きっかけで



またなかよく なって、いっしょに あそぶように なりました。

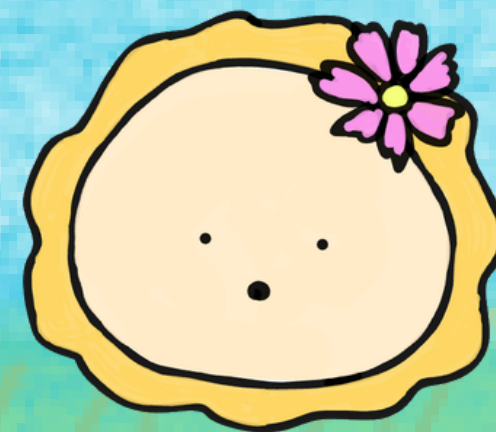


かんだ ふうと

ほそだ かほ



にしかわ あらた



ひらさわ なお



のじま のぞみ

